

service information

○OBD 検査 レディネスコード不適合対応について

OBD 検査でレディネスコードが「不適合」となった場合、 対応方法のご紹介

UD トラックス株式会社

OBD検査では、レディネスコードが少なくとも1つ「完了」となっていることが必要となります。OBD検査実施前の作業で、排出ガス発散防止装置等に関わるECUについて、故障コードの消去、またはリプログラミングを実施した場合、レディネスコードの状態がすべて「未完了」にリセットされます。このとき、OBD検査システム(特定DTC照会アプリ)上では、レディネスコードの項目が「不適合」と表示され、OBD検査結果が「不適合」となってしまいます。

OBD検査結果詳細

事業場： 利用者： [メニューへ](#) [ログアウト](#)

詳細内容を確認してください。

検査/確認	車台番号	型式	類別区分番号	燃料の種類
確認				軽油

不 適 合

排ガス (ディーゼル重車J-OBDⅡ)	特定DTC 0件
電圧 ○ 25.1V	6件まで表示：全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから 全ての特定DTCを見る
MIL ○ OFF	
レディネス × 不適合	
通信 ○ 成立	
特定DTC ○ 適合	

レディネスの項目が「不適合」と表示される

「完了」状態のものがない

レディネスコード 10個中0個完了			
凡例： ☐ 完了 ☐ 未完了 ☐ 未サポート			
部品監視	DPFシステム	選択還元触媒 (SCR)	NOx吸蔵還元触媒
ディーゼル酸化触媒	排出ガス再循環 (EGR) システム	燃料システム	過給圧制御システム等
VVTシステム	排出ガス及び酸素センサ	ISCシステム	

その際は、以下の方法により、レディネスコードを「完了」とさせることができます。

■ OBD検査システムでレディネスコードを「完了」とさせる対応方法。

レディネスコードを「完了」とするためには、診断条件を満たして、排ガス関連システムの故障診断を実行させる必要があります。シフトレバーを“N”位置にして駐車ブレーキをかけ、車両を停車させた状態で以下の診断条件を満たすことにより、故障診断を実行させることができます。

故障診断が実行されれば、レディネスコードを「完了」させ、「レディネス適合」とすることができます。

■ GH8・GH11エンジン共通の診断方法

- ①冷却水の水温が65℃を超えるまで、エンジンを暖機運転する。（早く水温を上げるためには、手動調整等でエンジン回転数を上げておくことが有効です）
 - ②水温65℃以上・エンジン回転数700rpm～1900rpm（手動調整）で、安定した状態（回転・負荷一定）を30秒間以上維持する。
 - ③エンジン回転を通常のアイドル状態（自動調整）に戻して、水温65℃以上・エンジン回転アイドル状態（自動調整）を累積時間で14分以上維持する。（14分間継続して条件を維持する必要はなく、例えば外気温が低く水温が65℃を下回るなど、一時的に条件から外れた場合でも、再度水温を65℃以上に上げて、条件を満たすことで診断を再開することが可能です）
- 以上で、レディネスコードを「完了」させ「レディネス適合」とすることができます。



※GH8・GH11エンジンについては、UDPC手動再生、または、UDPCメンテナンス再生を実施することにより、故障診断を実行させ、レディネスコードを「完了」させる方法もあります。（手動・メンテナンス再生を実施する方法については、車両に備え付けの取扱説明書のほか、整備要領書などの点検・整備用の資料をご確認ください）

■ GH13エンジン専用の診断方法

- ①冷却水の水温が65℃を超えるまで、エンジンを暖機運転する。（早く水温を上げるためには、手動調整等でエンジン回転数を上げておくことが有効です）
 - ②エンジン回転を通常のアイドル状態（自動調整）にして、水温65℃以上・エンジン回転アイドル状態（自動調整）を、連続して1分間以上維持する。
- 以上で、レディネスコードを「完了」させ「レディネス適合」とすることができます。



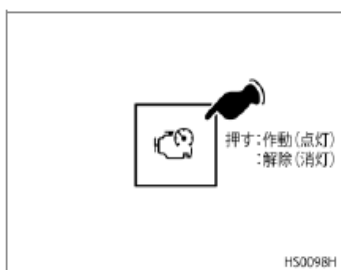
・エンジン回転数の手動調整方法について

エンジン回転数の調整・維持には、以下のアイドリングコントロールON/OFFスイッチ、アイドリングコントロールスイッチを使用すると便利です。

取扱説明書抜粋

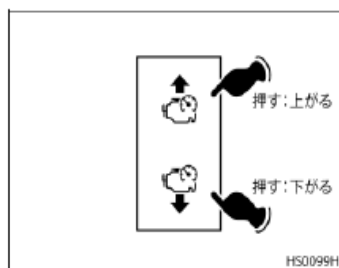
アイドリングコントロール ON/OFF スイッチ

- アイドリングコントロール ON/OFF スイッチを“ON”にするとスイッチが黄色く点灯し、アイドリングコントロールスイッチによるアイドリング調整ができるようになります。
- スイッチを“OFF”にしておくと、エンジン始動時などにアイドリング回転数を自動調整します。



アイドリングコントロール スイッチ

- エンジンのアイドリング調整のときに使用します。スイッチの上側を押すとエンジン回転が高くなり、下側を押すと低くなります。
- アイドリングコントロールスイッチは、パーキングブレーキ作動状態で、シフトレバーが“N”位置のときのみ使用できます。



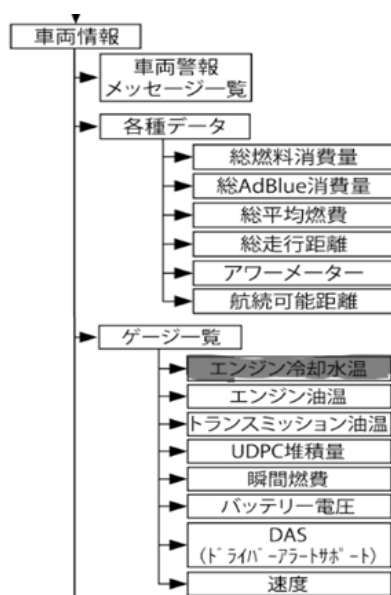
※エンジン回転数を通常のアイドル状態（自動調整）に戻す場合は、アイドリングコントロールON/OFFスイッチの状態を“OFF”にしてください。

※スイッチの位置・操作方法の詳細は、車両に備え付けの取扱説明書をご確認ください。

・水温の確認方法について

メーターのマルチディスプレイ上に水温表示を設定することにより、おおよその水温状態を確認することができます。

※マルチディスプレイより、“車両情報”の“ゲージ一覧”から「エンジン冷却水温」を選択することにより、“エンジン冷却水温ゲージ”を表示させることができます。詳細な設定方法は、車両に備え付けの取扱説明書をご確認ください。



※ご不明な点等がありましたら、最寄りの販売店へお問い合わせください。